

週刊 循環経済新聞

The Recycling Economy Times

4月17日 No.812

-----2006年(平成18年)-----

週刊 月曜発行

発行人 小田 太一

平成元年9月22日 第3種郵便物認可

購読料 年間 24,000円(前納)
1部 520円

発行所
株式会社 日報アイビー

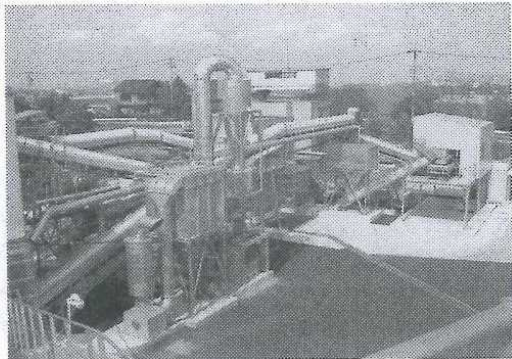
Vision Vitality Victory

<東京>〒101-0061 東京都千代田区三崎町3-1-5
電話03(3262)3463(代) FAX03(5276)4431
<大阪>〒541-0054 大阪市中央区南本町1-5-11
電話06(6262)2402(代) FAX06(6265)7127
<広島>〒733-0861 広島市西区草津東2-2-38
電話082(274)2650 FAX082(274)2651

トーエイ ガラスびん造粒施設が完成 砂状で土木資材などに活用

廃棄物の総合処理やリフォーム工事、一般土木建築まで手掛けるトーエイ(愛知県東浦町、今津昭社長、☎0562・833・3880)は、ガラスびんを道路建設の土木資材などに活用するための造粒加工施設「ガラスリサイクル再商品化施設」を完成させ、稼働を開始した。敷地面積は約4800平方メートル、8時間稼働で日量400トン、年間12

万トンの処理能力を持つ。敷地の4分の1を緑地化して、一部施設をカバーで覆うなど粉じんや騒音の防止にも力を入れた。ガラスリサイクル再商品化施設は、トラックで搬入したガラスびんの中からアルミや鉄などの異物を除去して、10ミリの以下の砂粒状に加工する仕組み。破碎時にガラスの鋭利な角を切り取る独自のノウハウがあり、危険



ガラス再商品化施設

性を取り除いた。施設は、徹底した環境配慮と次世代のための環境教育という側面を盛り込んだ。案

内パネルやDVD観賞などの見学プログラムを作成して見学会も実施している。ガラス造粒砂は、軟弱地盤改良工事のパイロ砂や路床材などの公共工事で使用ができ、性質的には、透水性が高いため道路のアスファルト舗装などの路盤材やガス管の埋戻し材、運動場の土の下地などに活用、水はけをよくする働きを持つ。